

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	神田錦町「ご縁日」2025 ～錦に恋して～
提案者名	神田錦町「ご縁日」実行委員会 錦町一丁目町会、神田錦町二丁目町会、錦町三丁目町会、錦町三丁目第一町会、安田不動産(株)、(一社)つむぎやさん
提案者の所在地	千代田区神田錦町
【下記事項について記載してください。】 ○開催時期：令和7年9月26日(金)16時～21時 ○活動場所：道路&駐車場&ちよだプラットフォームスクウェア広場 ○目 的：神田錦町4町会の合同により、新旧住民 ならびに 在勤&在学者との交流を促進し、神田錦町への愛着を醸成することを目的に開催する。そして、町会や地域活動への参加&支援の輪を広げていく。 ○活動内容：お祝い×スポーツ×屋台×エンタメ×町の紹介の5つをテーマとした都市の道や駐車場、広場を有効活用した都市イベントを開催します。 コンテンツ（予定） <u>①みんなでお祝い</u> 2025年めでたい人大集合！錦上花を添えよう！入学・卒業・優勝・還暦・百歳・周年・引っ越し・東京代表・結婚などみんなでお祝いしよう！地元の三味線名人（日本一）や、豊島屋のお酒で老若男女をお祝いします。 <u>②スポーツで交流</u> 約30企業・団体が大集合し、道路でチーム対抗の綱引き大会を開催します。プレイイベントでは、綱引きの講習や練習会、トーナメント抽選会も開催します。 さらに、子ども向けにNEWスポーツ（モルック・ボッチャ・ディスコン等）やミニ綱引き大会も開催します。 <u>③錦町屋台村</u> 神田の錦町界隈の飲食店が10店舗以上集まる屋台村が出現します。また、いろいろなあそびやゲーム屋台（けん玉・JINS・ほぼ日 等）も登場します。 <u>④わくわくエンタメ</u> 中学生の吹奏楽の演奏やパンダ妙珍パレード&占い、まちかど防災車@神田消防なども開催予定。そして、最後に神田錦町の企業の協賛品による大抽選会を開催します。 <u>⑤我が町の大縁会</u> 神田といえばお祭り！ということで、お神輿&半纏の展示をします。氏子を超えた交流や新旧住民交流により町への愛着を育みます。また、オリジナルソングのご縁日ソングをみんなで歌い、さらに今年は2番の歌詞のコンテストを開催します 参加者目標人数：1000人（在住・在勤・在学者 等）	

【開催までのスケジュールを記載してください。（企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて）】

5月 実行委員会発足、関係者間での検討開始

6月 企画書・コンテンツ案づくり、関係者への打診、場所の検討、定例会

7月 関係者・関係機関との打ち合わせ、予算案作成、お祝い・綱引き募集、定例会

8月上旬 各種手続き相談（道路占用・使用許可申請・消防・保健所等）

綱引き参加者締め切り、チラシ制作、定例会、制作物・備品レンタル確保

下旬 チラシ入稿、綱引きプレイベント、定例会、お祝い参加者締め切り

9月上旬 チラシ配布、手続き完了（道路占用・使用許可申請・消防・保健所等）

中旬 関係者最終うちあわせ、SNS配信、定例会

26日 イベント開催

10月 振り返り会（今後にむけて）

11月 報告書（報告書および動画制作）

【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて）】

神田錦町は、古くから続く町会文化や歴史ある企業・店舗が息づく一方で、近年は新たな住民や在勤・在学者が増え、多様な人々が行き交う町となっています。しかし、従来の町会や地域活動への参加はハードルが高いと感じる人も多く、町内の人々同士のつながりが十分に築かれていない現状があります。地域の中に「顔の見える関係」を育み、町への愛着や誇りを持ってもらうことが急務だと感じています。

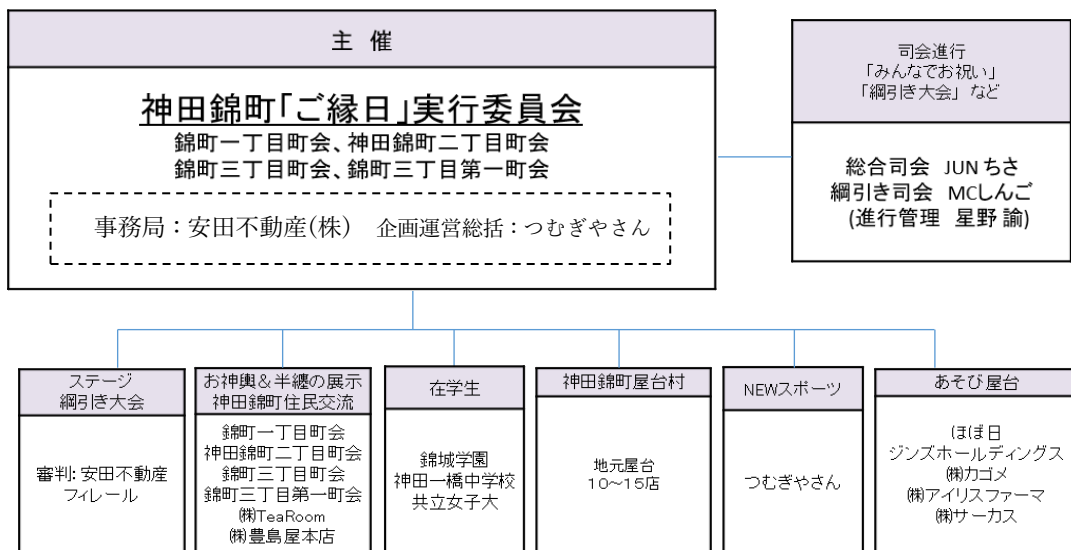
さらに現代の都市は、人が集い、語り合い、共に地域を育てていく「にぎわい」や「居場所」の不足という課題を抱えています。防災、地域経済、子育て支援、高齢者の見守りなど、多様な都市課題を解決するためには、町の人と人のつながりが不可欠であり、ウォーカブルな空間を活かした交流の場づくりはその大きな鍵だと考えています。

神田錦町には、お祭りや縁日といった、かつて地域の絆を深めてきた文化的土壌があります。この貴重な資産を今の時代に合った形で再生し、未来へつなげるために「神田錦町ご縁日」を企画しました。道や駐車場、広場といった都市空間を大胆に活用し、お祝い、スポーツ、屋台、エンタメ、町の紹介など、多彩なコンテンツを通じて、世代や立場を超えた出会いや交流を生み出すことで、まちに新たな息吹を吹き込みたいと考えています。

ご縁日は、神田錦町が「歩きたくなるまち」「人が集い、語り合うまち」へ進化する象徴的な一歩です。そしてこの取り組みが、地域の子育てや防災、経済活性化、文化の継承にもつながり、持続可能で魅力あふれる都市の未来を描く土台になると信じています。今回の活動を通じて、神田錦町に関わるすべての人々が、自分の居場所と誇りを見つけ、このまちに「錦上花を添える」存在になれるよう取り組んでいきたいと考え、応募いたしました。

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

○実施体制・各主体や団体内の役割分担（予定）



○収支予定

収入：■万円（千代田区本助成金30万円、特別協賛■万、協賛■万円）

支出：■万円（運営委託費、備品レンタル費、会場借用日、デザイン費、印刷費、備品・消耗品費、謝礼、保険代など）

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】

1年に1回、神田錦町ご縁日という在住・在勤・在学者の参加型イベントを継続的に開催するとともに、町会の行事や地域イベント（なんだかんだ等）とも連携しながら、日常的な交流の機会を増やしていきたいと考えています。

また、今回の取り組みをきっかけに、神田錦町の再開発やまちづくりに伴うエリアマネジメント的な活動へと発展させたいと思っています。具体的には、道路や広場など公共空間の利活用の検討、地域の魅力発信、協賛企業とのネットワークづくり、防災や子育て支援、高齢者の見守りなど、まちの多様な課題解決を視野に入れた活動を広げていきたいと考えています。

さらに、地域内外の大学やクリエイター、スタートアップ企業とも協力し、地域資源を活かした新たな企画や社会実験を実施しながら、神田錦町が「歩きたくなるまち」「集いたくなるまち」として進化していくことを目指します。そして、このご縁日を、神田錦町に住む人、働く人、学ぶ人それぞれが「自分のまち」として誇りを持ち、関わり続けられるためのハブに育てていきたいと考えています。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

○駐車を挟んだ南北の道路を通行止めにし、道路2か所と駐車場、広場を一体的に使った“まち全体”を会場化する都市型縁日

→ 敷地や街区を超えた回遊性を生み出し、人々が歩いて楽しめるウォーカブル空間を大胆に創出します。

○「お祝い」を軸にした地域内外の参加型コンテンツ

→ 入学・卒業・周年・還暦など「めでたいこと」をみんなで祝う仕掛けを設け、住民や在勤者・在学者それぞれが“自分事”として地域に関わるきっかけを作ります。

○神田錦町ならではの文化資源を2025年度版にアップデート

→ 江戸から続く祭り文化や町会の伝統、地元企業の魅力を活かしつつ、綱引き大会や屋台村、オリジナルソングなどを通じて、歴史と未来が交差する新しい地域ブランドを発信します。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の□にチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

☒ 募集要項に記載の「3 応募資格」および「4 活動の要件」を満たしていること

☒ 採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること

☒ 今後のさらなるウォーカブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること

☒ 今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。